

令和8年度 府立福知山高等学校三和分校 学校経営計画 (スクールマネジメントプラン) (計画段階)

学校経営方針 (中期経営目標)	昨年度の成果と課題	本年度学校経営の重点 (短期経営目標)
<p><スクール・ミッション> 農業科・家政科を設置する昼間定時制課程の高校として、個に応じた学びと協働学習の場を提供することにより、基礎的な学力と生きる力を身に付け、社会に主体的に参画できる心豊かな人材を育成する。</p> <p><スクール・ポリシー> ◎育成を目指す資質能力に関する方針 「個を活かし、公に生きる人間」の育成 この推進のため特に、 ・5K力(「感じる力」「考える力」「行動する力」「向上する力」「関わる力」) ・いつの時代においても生き抜くことができる力(汎用的能力)を身に付け、地域社会の一員として、他者と協働して貢献できる力の育成に努める。 ◎教育課程の編成及び実施に関する方針 ・地域と連携した活動を通して地域社会を理解し、社会に貢献できる力を育成する。 ・農業又は家庭の専門教育の一層の充実を図り、「汎用的能力」を育成する。 ・個に応じた丁寧な指導で、基礎的な学力と生きる力の定着を図る。 ◎入学者の受入れに関する方針 ・学習や学校行事等、学校生活に意欲的に取り組もうとする生徒 ・農業又は家庭に関する分野に関心・興味を持ち、意欲的に学ぼうとする生徒 ・本校で学んだことをもとに、進路実現に向け最後まで取り組める生徒 ・自他を尊重し、多様性を認め、他者と協働して物事に取り組める生徒</p>	<p>(成果)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生徒の主体性を育てる取組を継続することで、学校生活全体が落ち着いた雰囲気の中で進み、安心して学べる教育環境を維持できた。 2 学校安全の取組を重点課題として、避難訓練の回数を増やすとともに、休み時間を想定した訓練や防災意識の啓発、教職員研修、校内体制の整備等を進め、生徒・教職員の防災意識の向上と安全管理体制の強化を図ることができた。 3 授業改善やICT活用の研究を進めるとともに、校内外の研修を積極的に実施・受講し、教職員の指導力向上につなげた。 4 進路指導では、生徒一人ひとりの状況に応じた面談を行うとともに、保護者や関係機関との連携を図りながら、進路実現に向けた支援を進めることができた。 5 様々な課題を抱える生徒について、学年・分掌・関係機関が連携して情報共有を行い、個別の支援計画を基に組織的な指導・支援を行うことができた。 6 文化祭、体育祭、学習発表会等の学校行事をとおり、生徒が主体的に活動する場を確保し、生徒の成長や学校への帰属意識を高めた。 7 農業科・家政科の取組を中心に、苗販売や地域イベント、販売実習などを通して地域との連携を深め、本校の教育活動を地域へ発信することができた。 8 探究活動「トライ」や各種発表・コンテスト等への挑戦を通して、生徒が自ら考え発表する機会が増え、自己肯定感や挑戦意欲の向上につながった。 <p>(課題)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 卒業後の社会的自立を見据え、4年間で育成する資質・能力を明確にし、教育活動全体の効果を検証しながらカリキュラムや取組の改善を進める必要がある。 2 多様な特性や課題を持つ生徒への理解を深め、特別支援教育の視点を踏まえた指導・支援体制の充実を図る必要がある。 3 農業科・家政科の特色ある教育活動をさらに充実させるため、地域との連携や学科間の連携等、授業改善を進める必要がある。 	<p>本年度学校経営の重点 (短期経営目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基礎学力の定着と授業改善 <ol style="list-style-type: none"> (1) 「わかる授業」の実践とICTの効果的な活用により、生徒の基礎学力の定着を図る。 (2) 個に応じた指導を行い、成功体験を積み重ねることで学習意欲と自己肯定感を高める。 (3) 規律ある授業環境を作り安心して学べる学習環境を維持する。 2 地域とともに歩む学校づくりと専門学科の特色化 <ol style="list-style-type: none"> (1) 府立高校特色化事業(京都フロンティア校)等により、農業科・家政科の特色ある教育活動を充実させ、地域と連携した学びを推進する。 (2) 販売実習や地域活動、探究活動等を通して、生徒の主体性や表現力を育成するとともに、本校の魅力を広く発信する。 3 原級留置・中途退学の防止 <ol style="list-style-type: none"> (1) 生徒の状況を早期に把握し、学年・分掌が連携して適切な支援を行う。 (2) 基本的な生活習慣の確立を促し、学校生活の安定を図る。 4 生徒の主体性と自己肯定感の育成 <ol style="list-style-type: none"> (1) 学校行事や探究活動、発表の機会を通して、生徒が主体的に考え行動する力を育てる。 (2) 役割や成功体験を通して、生徒の自己肯定感を高め、学校生活への意欲を育成する。 5 生徒理解に基づく支援体制の充実 <ol style="list-style-type: none"> (1) 生徒の実態把握を丁寧に行い、特別支援教育の視点を踏まえた指導・支援を充実させる。 (2) 個別の指導計画等を活用し、教職員が情報共有を行いながら組織的な支援体制を構築する。 6 希望進路の実現とキャリア教育の充実 <ol style="list-style-type: none"> (1) 保護者や関係機関と連携し、生徒一人ひとりの状況に応じた丁寧な進路指導を行う。 (2) 低学年からキャリア教育を充実させ、卒業後の社会生活を見据えた進路意識を育てる。 7 家庭・地域・関係機関との連携強化 <ol style="list-style-type: none"> (1) 保護者への丁寧かつ迅速な情報発信に努め、学校の教育活動への理解と信頼を深める。 (2) 地域との連携を進め「地域に開かれた学校づくり」を推進する。 8 教職員の資質向上と組織力の強化 <ol style="list-style-type: none"> (1) 校内外の研修やOJTを通して教職員の指導力向上を図る。 (2) 学科・教科・分掌の枠を越えた連携を進め、学校全体で教育活動を推進する。 9 安心・安全な学校づくりの推進 <ol style="list-style-type: none"> (1) 避難訓練や安全教育を計画的に実施し、生徒・教職員の防災意識と危機対応力を高める。 (2) 学校防災マニュアルの活用や日常の安全点検を通して、危機管理体制の充実を図る。

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
組織・運営	・教育目標の達成に向け、学科・分掌・学年が連携した組織的な教育活動を推進する。	・学校経営計画に基づき、各分掌・学科・教科が共通理解のもと連携し、教育目標の達成に向けて組織的に教育活動を推進する。		
		・OJTや校内研修を推進し、教職員間の連携を深めることで、組織的・協働的に業務を遂行できる体制を整える。		
	・家庭・地域・関係機関との連携を深め、生徒や地域のニーズに応える開かれた学校づくりを推進する。	・生徒・保護者へのきめ細やかな対応を行い、生徒一人ひとりの特性や実態に応じた丁寧な指導・支援を行う。		
		・体験セミナー、学校説明会、学校行事、PTA活動、ホームページ等を通して、本校の教育活動や昼間定時制・専門学科の特色への理解を深める。		
・本校の教育活動や専門学科の特色を積極的に発信し、生徒募集につながる広報活動を充実させる。	・本校の教育活動を広く発信するため、新聞等の掲載や地域・関係機関への情報発信を積極的に行い、中学校や地域に対する広報活動の充実を図る。			
・農業科・家政科の特色ある教育活動の充実を図る。	・農業科・家政科の教育活動について教職員全体で共通理解を図り、学校全体で支援する体制を充実させる。 ・両学科の連携を深めるとともに、地域との連携や地域貢献活動を推進し、専門学科の特色ある教育活動を発展させる。			
事務部	・円滑で的確な窓口業務を行うとともに、学校運営を支える立場から教育環境の整備と学校事務の適正な運営に努める。	・親切・丁寧な対応を心がけるとともに、援護制度等について担任等と連携を図り、正確で円滑な事務処理を行う。		
		・予算の計画的かつ有効な活用を図るとともに、適正な会計事務の執行に努める。		
	・校内の危険箇所の点検と早期対応を徹底し、安全で安心な教育環境の維持と安全衛生管理の充実を図る。	・校内の安全点検を定期的に行い、危険箇所の早期発見と迅速な対応に努める。		
・ゴミの分別回収や施設の清掃・衛生管理を徹底し、清潔で整った教育環境の維持に努める。				
教務部 (図書・視聴覚)	・授業規律の確保と、基礎学力の定着	・授業を受ける5つのルールに基づき、生徒指導部・学年部・学習支援担当と連携して授業規律の確保に取り組む。		
		・各教科での授業改善に役立つよう、教科担当者会では数名の生徒に焦点を当て、学びやすい授業作りについて共有、検討する。		
	・トライの充実	・昨年度に引き続き話し合う活動を中心とすることで、話し合う力と協働する力の育成、また、リーダーシップをとれる生徒の育成を目指す。		

	<ul style="list-style-type: none"> 校務のスムーズな運用 	<ul style="list-style-type: none"> 授業時数の確保、指導要録・出席簿等の表簿の適正な管理を行うことにより、教育計画の適正な実施を図る。 			
	<ul style="list-style-type: none"> 図書室の有効活用 	<ul style="list-style-type: none"> 蔵書の充実を図り、昼休みの開館を続けることにより、生徒により身近な存在となるようにする。また、図書委員会の活動を活性化させる。 			
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> 社会性を育み、規律ある生活習慣の確立に向けて、三和分校ループリックを有効活用した指導を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 各分掌と協力し、全ての生徒が落ち着いて、前向きに、安心して普段の学校生活や特別活動を送れる安全で規律ある環境作りを行う。 			
		<ul style="list-style-type: none"> 特別活動や委員会、部活動など他者と関わる活動の中で自分の強みを見つけ、成功体験を通して主体性を育む教育を行う。 			
		<ul style="list-style-type: none"> 4年次の進路実現を意識し、社会性やコミュニケーション能力育成のため、挨拶や言葉遣い、身だしなみを日常的に指導する。 			
	<ul style="list-style-type: none"> 納得と説得を基本とする丁寧な生徒指導を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒個々の事情や特性、家庭の状況に配慮し、個に応じた適切で丁寧な指導を行う。 			
		<ul style="list-style-type: none"> 教職員全員で指導方針を共有し、本人はもちろん家庭にも理解と納得のいく粘り強い指導を行う。 			
	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会活動の活性化と主体性の確立を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> 体育祭や文化祭などの生徒会活動や委員会活動、クラスの取り組み、放課後の部活動を活性化させ、生徒の主体性や社会性を育てる。 			
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> 希望進路の実現 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の進路希望を早期に共有し、個に応じた支援と情報提供を行うことで、希望進路の決定率および実現度の向上を図る。 入試・就職試験等に向けて丁寧な指導を行い、生徒全員の希望進路の実現を目指す。 			
		<ul style="list-style-type: none"> 早い段階から面談等で本人・保護者との情報共有を行い進路の決定・実現に繋げる。 			
	<ul style="list-style-type: none"> 援護制度の紹介と活用 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の生徒の進路希望や経済的な課題等をより早期から丁寧に把握し、進路にかかわる費用や援護制度に関する情報を適切に提供する。 			
	<ul style="list-style-type: none"> 教員の進路指導力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 就職・進学指導に関する研修を実施するとともに、進路指導における課題等について情報を共有し、組織的な進路指導力の向上を図る。 			

保健部	・学年部との連携	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断を計画通り実施し、受診が必要な生徒・保護者へ学年部と連携して勧める。 生徒が心身の健康について興味・関心を持てるようにほげんだよりや掲示物を工夫し、HRでの活用に繋げる。 防災意識の向上を目指し、“白い小箱”の取組を定着させる。 			
	・教育相談活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 教職員間の“報・連・相”及び専門機関等との連携により、生徒・保護者へのタイムリーな対応に努める。 生徒・保護者理解についての教職員研修を実施する。 			
人権教育部	・豊かな心の形成と多様性を尊重できる集団作り	<ul style="list-style-type: none"> 担任と連携を密にし、日常的に生徒を見守り、問題の早期発見・早期解決に努める。 他分掌と協力し、生徒対象の人権教育を計画的に実施し、あらゆる機会や場面において人権教育を推進する。また、いじめやからかいなどの問題について、生徒指導部、学年部と連携して対応する。 			
	・適切で、きめ細かな就・修学援助	<ul style="list-style-type: none"> 各種奨学金等について、保護者・担任・事務・各関係機関と連携を図り、速やかに案内や指導、申請をする。 			
	・教職員の実践力・指導力の向上と人権意識の高揚を図る	<ul style="list-style-type: none"> 教職員対象の人権講演会を実施し、様々な人権問題についての理解を図る。 			
	学習・特別支援	<ul style="list-style-type: none"> 担任、教科担当者との連携を密にし、面談の機会を利用するなどして生徒の実態把握に努め、必要な生徒への具体的な支援目標と方法を検討する。 特別支援教育連絡調整会議を開催し、支援を要する生徒の特性・問題状況の確認及び支援員の配置の調整等を行う。 			
学習・特別支援	・個別の指導支援	<ul style="list-style-type: none"> 個別の指導計画作成にあたり、担任や教科担当者と協力し、アセスメント表の作成・充実を図る。 個別の指導計画は、本人・保護者の思いを踏まえて作成し、互いに共通理解が図れるよう連携・相談を進める。 コグトレを活用し、担任と連携しながら生徒への支援につなげる。 			
	・指導支援方法等や生徒理解に関する教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関、校内の関係分掌と連携し、生徒理解を深めるための教職員研修会を実施し、特別支援教育について正しく学ぶ機会の充実を図る。 			
	・移行支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> 中高連絡会や個別の移行支援シート等をもとに、必要に応じて本人・保護者との入学前面談を実施し、切れ目のない支援を目指す。関係機関とも連携し、必要に応じて早期からの巡回相談や発達検査等を勧めながら、在学中だけでなく卒業後も見据えた指導の充実を図る。 			

学年部	<ul style="list-style-type: none"> ・確かな人間力の向上 ・生徒が集中できる授業環境の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の挨拶や言葉遣い、読む力、丁寧な字を書く力、時間厳守など社会で必要とされる力を向上すること、生活改善も含め、日頃の指導を徹底する。 ・授業を受ける5つのルール of 定着を目指し、統一した指導を徹底するとともに教室の整理整頓、美化に努める。 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・希望進路の実現 	<ul style="list-style-type: none"> ・4年間を通して、進路への意識を高め進路実現を目指すために、生徒に適切な情報を提供する。また、低学年からの進路指導を推進するために進路指導部と連携して1～3年生の個別進路面談を実施する。 ・アルバイト等の就労体験を奨励し、進路指導部、生徒指導部、特別支援教育コーディネーターと連携を図り、個に応じた指導をする。 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・面談や家庭連絡を丁寧に実施し、個々の生徒の課題や特徴を把握し、日々の指導において、効果的で迅速な対応をする。 ・日頃から生徒に対する教職員間の情報共有を図り、個々の生徒の共通理解に努める。定期的に学年部会を行い、担任間の意思疎通を行い、統一した指導を徹底する。 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・研修旅行の計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒とともに準備し、安心・安全で楽しく充実した研修旅行を計画する。 ・来年度の実施に向け、計画と準備を進めていく。 			
	農業科	<ul style="list-style-type: none"> ・農業に関する専門知識や技術の学習を通して、「生きる力」を身につけていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年ごとの生徒の実態に応じた学習内容を検討し、iPadを活用するなど指導方法の工夫をする。 ・実習では体験的で実践的な授業を通して、生徒にチームワーク、コミュニケーション、プレゼンテーションの能力向上を図る。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・販売活動や交流活動を通じて地域との結び付きを強め、福知山市や地域企業等と連携した取組の充実につなげる。 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・希望進路実現のための資格取得等への取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内行事や府連各種行事に積極的に取り組み、農業クラブ活動の更なる活性化を目指す。 ・農業関連資格取得に意欲的に取り組ませる 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・他教科との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・加工室の利用について家政科と連携を図る。 ・他教科との連携図り、生徒の学びを深める。 			

家政科	・基礎的な知識・技術の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・実習等を通して基礎的・基本的な知識・技術の修得を図り、学習したことを実生活に活用する意識や態度を養う。 ・学習意欲や興味・関心を引き出せるよう“対話”を重視した授業を実践する。 ・担任・保護者と連携し、衛生的に実習ができるよう指導する。 			
	・社会とつながる教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や家庭クラブ活動を通してあいさつや適切な言葉かけの経験を積み、自信をもって他者とコミュニケーションがとれるよう指導する。 ・各科目の授業と家庭クラブ活動を組み合わせ、教育効果の向上を図る。（資格取得、コンテストへの挑戦） 			

学校関係者 評価委員会 による評価	
次年度に 向けた改善 の方向性	